

2023年1月～7月の活動報告(つづき)

3つのイベントに参加しました

2月の「せたがや梅まつり」、4月の「おたがいさまフェスタ」、5月の「烏山もったいないバザール」に参加しました。どのイベントでも、手作り品と八女の農産物の販売を通して、せたがやチャイルドラインの活動を発信してきました。

さらに「おたがいさまフェスタ」では、通常の販売に加えてプラバンづくりのワークショップも行い、沢山の子どもたちが来てくれました。参加

してくれた子どもたちは、プラスチックの板へ一生懸命思い思いに絵を描き、それぞれ個性あふれる作品を作ってくれました。

手作り品の作り手さん、福岡県八女市の農家さん、そしてイベントで設営や当日運営にご協力いただいたボランティアのみなさん、本当にありがとうございました。頂いた売上は、電話の通話料や広報紙等の製作費にあてさせていただきます。



「せたがや梅まつり」での販売



「おたがいさまフェスタ」のワークショップで完成したカラフルなプラバン



「烏山もったいないバザール」での販売



せたがやチャイルドライン事務局

〒154-0002 世田谷区下馬2-20-14 電話：03-5712-5101 FAX：03-3410-3811

メールアドレス：childline@otagaisama.or.jp 担当：小畑・高居

せたがや
チャイルドライン
ホームページ



ご寄付の方法

1. 郵便局

本振込用紙をお使いください

2. ネットバンキング

<https://www.otagaisama.or.jp/childline/donation>



(ご注意)
・この用紙は、機械で処理しますので、口座記号番号および金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入ください。
また、用紙を汚したり、折り曲げたりしないでください。
・この用紙は、ゆうちょ銀行または郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
・この用紙をゆうちょ銀行または郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
・払込みの際、法令等に基づき、ご依頼人様（および代理人様）の運転免許証等、顔写真付きの公的証明書類のご提示をお願いする場合があります。
・この用紙による払込料金は、ご依頼人様が負担することとなります。
・この用紙の通信欄・ご依頼人に記載されたおとこと・おなまえ等は、加入者様に通知されます。
・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。
なお、備考欄に「口座払」の印字をしたものは、通常貯金口座から指定口座への払込みが行われたものです。

収入印紙
課税相当額以上
貼付

印

☎ 18歳までの子どものための電話とチャット



せたがやチャイルドライン ニュースレター



せたがやチャイルドライン25周年

18歳までの子どもからの電話を受けてチャイルドラインが世田谷で誕生してから25年が経ちました。そこで、せたがやチャイルドラインの25周年のお祝いとして4月8日に「チャイルドライン事始め」を振り返る会を開催しました。語り部は25年前の立ち上げメンバーの『NPO法人プレーパークせたがや』理事・天野秀昭さんと「せたがやチャイルドライン」前運営委員長の星野弥生さんです。

俳優で世田谷ボランティア協会理事長(当時)の故牟田梯三さんを中心に集まったおとなたちが「世田谷こどもいのちのネットワーク」を1996年1月に発足。「おとなが子どもたちに何をすればいいのか」を考えたとき、イギリスにあるチャイルドラインを現世田谷区長の保坂さんが提案しました。

シンポジウムに集まったおとなたちに「チャイルドラインを作ったらボランティアをしてみたいと思いますか？」と投げかけると大勢の賛同を得られたのをきっかけに、牟田さん、保坂さん、天野さん、星野さん、そして児童館職員の澤畑さんがイギリスのチャイルドラインを訪問してレクチャー

を受け、学んだ成果を生かして1998年3月に2週間限定で24時間のチャイルドラインを試行しました。電話はひっきりなしにかかり、子どもたちのニーズを感じた私たちは試行を重ねた後に2000年6月1日にチャイルドラインを常設化しました。

こんな勢いでチャイルドラインはスタートしました。今も守られている子どもたちへの「5つの約束」や「受け手」「支え手」のシステムは最初から作られていました。そして、受け手への研修実施もしっかりと守られています。今では全国共通のフリーダイヤルとなり、子どもが電話料金を負担することはなく、メールのような文字での会話を望む声からチャットのサービスが開始しました。

発足時のメンバーはキラキラしたおとなたちがたくさんいました。その人たちへの憧れを持ちつつ迷いながらも運営にかかわる人は代わり、世代交代を少しずつ進めてきています。25年を経て変化しながらも、子どもの声に寄り添い続けるおとながいることは変わりありません。子どももおとなも生きやすい世の中になることを願っています。

運営委員長 田野浩美



立ち上げ当時について語る、星野さん(左)と天野さん



チャイルドライン発足の頃の主なメンバーによるスナップ

2023年1月～7月の活動報告

新しく生まれかわった公開講座

子どもの声を聴くことの前に、まず、大人の自分たち自身の学び直しを、公開講座は、子どものことにかかわっている多くの大人たちが、日頃の子どもへの向き合い方、かかわり方を見直して、みる時間になるようにと、チャイルドラインも他の人も一緒に学び合い、20年を過ごしました。

コロナ禍で、人が集まることが出来ず、講座も休講。翌年は、社会の変化にも後押しされて、試

行錯誤でしたが、ZOOMでの講座を開催しました。その中で、実際に会えなくても、ともに学ぶことが出来ることを知りました。そして、自分たちの周りにいる人たちだけではなく、距離を超えた広い地域の子どもの近くにいる大人たちに、今を生きる子どもたちの現状を知っていただけるように、講座を届けよう。今年の公開講座です。

運営委員・支え手 山本多賀子

成城大学で講演しました



6月16日、成城大学「キャリア形成Ⅰ《コミュニケーション》」の科目の中で、『聴くということ、人とむきあうこと』と題してゲストスピーカーでお話をしてきました。70名の方々から活発な意見や質問を受け、また授業終了後の感想を拝見して、皆さんの思いや気づきに瑞々しい感覚を感じました。私たちの活動に理解のある人が増え、また興味を持っていただけで、これからの世代の方々にも心強い思いです。

運営委員長 田野浩美

チャイルドラインに寄せられた声や感想

*チャイルドライン支援センターのHPから引用

子どもたちの声

パパとママがいなくて、今夜もひとり、さみしいなあ。どうしてうちはこうなんだろう。

僕が何もしていないのに、教室で歩いてると足をかけてくる。背中をバーンって強く殴られることもある。この間は、大切にしていた筆箱が壊された。給食に消しゴムのかすを入れられたこともある。

仲よかった友達がこの頃私を避けているみたいで悩んでいるんですけど。みんなで話していても私がいくと黙ってしまうし…。この間、他のグループの子が、私の陰口を言っているよって教えてくれたんだけど、私は何を言われているのかわからなくて心配で。私は何も悪いことしていないのになんでだろう。

子どもたちの感想

ものすごくすっきりして気持ちが楽になりました。来年から学校に行けるように、頑張ってみます。そして、お母さんにきちんと話をしてみたいと思います

自分のペースに合わせて、ずっと話を聞いてくれたので、話しやすかったし気持ちが楽になりました。今迄一緒に泣いてくれたりしてくれた人がいなかったの、一緒に泣いてくれたり、悩んでくれたりした時は電話して良かった。やっと、私の気持ちを分かってくれる人が居た。って思えました。ありがとうございました。

一緒に真剣に悩みを聞いてくれてすごく力になった。途中で感情的になって泣いちゃっても、「ゆっくりでいいよ」っていつてくれて、嬉しかった。何度でも、どんな悩みでも聞いてくれるから安心できる。名前を聞かれないところもとってもいい。

*子どもの事例については、秘密を守るため編集したものです

ご寄付をお願いします

せたがやチャイルドラインの活動継続には、カード・チラシの配布、電話を受けるボランティア育成のための講座の開催、電話の通信費など年間で300万円ほどかかります。それに加え新たにチャットの機器の充実も一つの課題です。電話とチャットを通して子どもたちの声をより多く受け止めていけるよう、皆様のご支援とご協力をお願いします。

2022年度、下半期に寄付してくださったみなさま (敬称略)
*匿名希望を除く方のお名前を掲載させていただきます

中山真由美／海老原信子／清水敦子／田中博／尾村一枝／利岡真理／吉原清治／山崎富美子／川村恵美子／藤原幸二／宮崎聖子／棚橋淳二／前川典子／佐藤由美子／吉木京子／石村黄仁／鷺子／秋吉哲也／備藤士郎／篠崎律子／田中省一／二村比佐子／金光教世田谷教会／岩間有喜子／岩崎さち子／鈴木泉／山本恒子／長島範朋／吉田恵子

寄付金控除を受けられます！

3,000円以上、おいくらでも大歓迎です

10,000円以上は下の返礼品をお送りします

10,000円～	30,000円～	50,000円～
ボランティアさんによる手作り品／お礼状 *写真は一例です	せたがやチャイルドライン受け手養成講座 講義集／お礼状	ボランティアさんによる手作り品／お礼状 *写真は一例です

*返礼品が不要な方は右の通信欄に「返礼品不要」とお書きください

◆註1 寄付金は、所得税等の寄付金控除の対象となります。所得税等の寄付金控除をご希望の場合は通信欄に「住所」「氏名」「連絡先」と合わせて領収書希望欄にチェックを入れてください。後日領収書を郵送でお送りします
◆註2 ニュースレター等にお名前掲載を希望しない方は、匿名希望欄にチェックを入れてください

払込取扱票	
00	口座記号番号
001508	279963
金額	千 百 十 万 千 百 十 円
料金	備考
社会福祉法人世田谷ボランティア協会	
おとこ・おなまえ	
寄附申込書 せたがやチャイルドライン応援団費	
☐ 領収書が必要な方はチェックをお入れください。(◆註1)	
応援費 1口3,000円×()口(任意の額でも結構です)	
特別応援費 1口10,000円×()口	
※住所・氏名・連絡先をご記入ください。 ☐ 匿名希望(◆註2)	
返礼品が不要な方は振込用紙の通信欄に返礼品不要とお書きください。	
日付	印
ご依頼人欄に、おとこ・おなまえをご記入ください。(承認番号 0718 号)	
これより下部には何も記入しないでください。	

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	001508
加入者名	社会福祉法人世田谷ボランティア協会
金額	千 百 十 万 千 百 十 円
ご依頼人	おなまえ
料金	(消費税込み) 円
備考	
日付	印

この受領証は、大切に保管してください。